津奈木

前田九西

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木村
電話（津奈木）24番
編集人　岡松　壮
印刷所　緒方印刷所
八代市通町
電話（八代）（代）3118番

就任の挨拶

村議会議長　福村広人

先般の定例村議会に於いて健康上の理由で福島円太議長が辞任されましたので後任議長として不肖私が選任された次第で御座居ます。私は村議会議員の経験も浅く且つ浅学非才でありまして任期はわづか一年でありますが村政の現況を思考致しますとき、その重職が果されるや否や危惧の念を抱くものでありますが議会議員諸兄の御支援を期待申上げまして微力でも最大の努力を傾注して職責を遂行致す所存で議長を御引受け申上げた次第であります。

しかし何と申しましてもこの要職は村民各位の絶大なる御指導御支援なくては全うすることが出来ませんのでこの点につきまして特に心より御願い申上げまして議長就任の御挨拶と致します。

×　×

村民の皆様、達んで本村議会議長就任の御挨拶申上げます。

交通事故防止はわれらの手で
浜父親学級の美挙

本年もまた桜の花咲く気配が訪れてまいりました。野に山に春のいぶきがいっぱいたちこめ、道ゆく人々の足どりも軽く、まさに春到来の感を深くします。こうした平和な自然の移り変りをよそに世はますますきびしく警察責務の重大さを一層痛感するものであります。特に交通警察はその重要性をいよいよ増し県警察本部におきましては今迄の警り交通課から交通課が分離独立する事になりましたことは誠に喜ばしい事であります。さて水俣警察署管内の最近の交通情勢を眺めて見ますと、一月以降三月八日現在で一四件の交通事故が発生して居ります。これは昨年同期の二十一件に比べて七件三三％減と著少を見せ又死亡事故は皆無と云う好成績を上て居ります。津奈木村では昨年一月から三月末迄六件の交通事故発生で死者一名傷者一名を出して居りますが本年はまだ一件の交通事故もあって居りません。

これも皆さん方の平素からの御協力の賜で御座います。警察も村民の皆さんを交通禍から一人でも多くお守りする事が出来ますならばこれに越した喜びは御座いません交通事故防止は二月号でも申述べました様に今や国民運動的盛上りに迄発展して来て居ります。

三月一日から道路を広く使う運動が三ケ月間の長期間に亘って行なわれる事になり既に運動が行なわれて居ります。どうか皆さん村内の道路も広く使う意味におきまして。材木その他物件を勝手に道路に置いたり家から出したりしないで何時も歩き良い明るい村にする事に協力して戴き度いもので御座います。

浜部落では父親学級会の皆さんが中心となり交通事故防止はおらません。

浜父親学級員指導の下に交通整理中の生徒

迷信

暑さ寒さも彼岸まで

梅の花も散って、やがて桜も咲こうという頃の春の彼岸、暑くてやりきれないというう ちに霜が下りて寒さがつのる序の口の秋の彼岸は、いいふるされている通りで暑さ寒さの境目にあたるようだ。

かたりつたえ

無数の星が天空で動いているのに対し、北極星がひとり動かないことをたしかめるには、相当の年月を要したことだろう。草根木が、薬としてとりあげるまでには、幾多の祖先がどれほどの苦心が払われたかしれない。

何千何万人の事例を総合し体系づけたのが、易であり、手相であり、骨相である。

信頼されるいいつたえ

文明が極度に発展している今日、尚昔からのいいつたえが生きているのは、人間発生以来の大昔から、間違は訂正され、新らしい発見はつぎつぎにつけ加えられて、淘選された正しいものばかりが残されているからである。しかし中には、今日の科学の目から見れば笑い出さずにはおれない言いつたえが、信ぜられていることは、笑いごとではない。

太陰暦と太陽暦

太陰暦は月の満ちたり、かけたりするのを土台にして定めたこよみで、毎月十五日が満月であるようにして動けば、何年かの後には桜の花が、五月に咲いたり、八月に咲いたりすることになって都合が悪い。そこで太陽暦が生れた。この太陽暦にしても四年に一回閏年をおいたり、それでも完全でないので、いろいろのきまりが定められて今日に及んでいる。

改善に次ぐに改善

太古人が空を仰いで作ったこよみが、次から次とつぐ最近まで、改善につぐ改善をくりかえしている。

昔からののいいつたえが、こよみを改善したように改善されていたなら、馬鹿々々しいいいつたえは残らないはず、

われわれは、文化の光にてらし、合理の眼を通してこの言いつたえを処理し、正しいもの、必要なもののみを子孫に伝えることが、現代人のとるべき態度と思う。

郷土めぐり

郷土のほこり（三）
深水玄門先生

千々岩頼母

玄門さんの小さい時の名は鶴寿と言い大変賢い方であられた様です。そのお父さんは宗安（人々は津南先生といっていた）といひ、おじいさんは、宗恕といって二人共郡内でも名の高いよいお医者さんでした。

おじいさんの宗恕さんは孫の玄門さんを大変可愛いがられ、そして何時も頭をなでて「この子はほかの子供と変った相がある。之は田舎者ではない」と言っていられたそうです。あの有名な高山彦九郎が肥後を通って薩摩の国に行く途中津奈木の玄門さんのうちに泊った事があります。其の時お父さんの宗安さんは十七才になる玄門さんを薩摩の国境までお伴をさせたそうです。その時玄門さんは彦九郎の眼にとまり和歌をつくって薩摩入の喜と孝行の事を説いて玄門さんにおしえています。

その頃玄門さんは津奈木の阿蘇大明神に御詣りをし御願をかけ十一、一ケ月の中三回（十日に一回づつ）断食をします。

一、又母、祖父母に向って一生腹立をせず其の命令にはよく従って決して怠りません。

一、飲みすぎ食いすぎはしません

一、過があればすぐ改めます。

一、実行を先にしまう事は後にします。

一、立派な者になる様夜昼一心につとめます。

と神様に誓を立て、それを実行されましたのであんなに立派な人。そうして良いお医者になられました。

一、酒は一切のみません。

一、十二時に寝て午前四時におきます。

の御誓をたてていられます。それを見ると、とても大したもので私達が其の中の一つでも真似て実行が出来たらと思う程です。今其の誓の中から拾って見ますと

一、今から十年間は女事を断ちます。どうしても嫁を貰はねばならぬ時は寝るところを別にします。

赤崎校譽の入賞

第六回熊本県工作展が今年も八代市大洋デパートに於て去る二月二十三日から二十五日まで行われた赤崎小学校は昨年も特選1、優良1入選7の好成績だったが更に今年は特選3、優良3、入選18という驚異的な成績であった。田村校長の「身近な材料で生きた工作を、古い材料で新しい感覚を」。の信念を児童は素直に受け入れて、海の岩石や貝がら、山の枯木を持って来て一心にとりくんだのだった。指導された山下先生も一心にやった。こうした努力が実って前記の様な成績を収めたのだった。

小中学校先生の異動

（）内旧任地

津奈木小　小島鉄夫（水一小）
〃　山本博子（久木野）
〃　森山早苗（新　辛）
水俣一小　渡辺喜美子（津奈小）
水俣二小　梅田政敏（津奈木）
泉第二小　山下嘉美（津奈木）
一の宮中　前加幸子（津奈木）
平国小　西平皇子（津奈木）
平国小　福島季任（女島小）
平国小　谷口哲郎（古江小）
石坂川小　浪崎岩蔵（平国小）
水俣一小津奈木スミ子（平国小）
城南中　菅　秀隆（平国小）
津南中　早瀬　修（袋　小）
津南中　金子公明（大矢野）
津南中　林田哲子（八代中）
津南中　田中敏子（竹原中）
津南中　松本昭生（田浦小）
水俣一小　岡本　清（津南中）

婦人会館で結婚式をあげられたかたがた

豊山　茂己　宮島　繁子　二月二十一日
宮島　澄男　高塚　チサ　二月二十四日
吉野　七郎　吉野　高木もり子　三月二十一日
山崎　春美　西崎　優子　三月二十二日
山崎　眞子　柳迫　薫　三月二十四日
森下　学　宮下　律子　四月七日

訃報

古田　中尾和秀　兼雄
大沼　柿迫洋行　藤三郎
古加　荒木武一郎　留一
平下　鬼塚弥吉　逢雄
日当　森本　清　信義
倉谷　永田軍次　レイ
日添　佐々木太郎　チサエ
川内　浜田テノ　前田貞次郎
大沼　山本喜太郎　政信
竹中　山崎正人　ユキエ
日添　篠原源三郎　浜崎末彦
大沼　鬼塚サタ　栄太
平下　村上マン　モヨ
大沼　増田トミ　正恵
浜崎　原田末松　信男

人事往来

津奈木村農業協同組合に勤務されていた高田一彦氏は、天草郡新和町役場へ。

改良普及員、森田善吉氏は、八代普及事務所へ。

それぞれ転勤される事になった。

養豚だより

真野清光

畜産は今や新しい農業の先頭を行く、選択的拡大として重要な部門になりましたと、云われる事業が何だか津奈木村で、畜産と取りくんで居られる方には、皮肉に聞えて、素直に受取られない様な気持が致します。最近における豚価の低落を、豚飼育者の皆様如何が御検討して居られますか。不安を抱いてはおられませんか、津奈木の農業経済の中で畜産（中でも豚）が占める比重は決して軽くないので御座います。公民館でも此の最近における豚価の低落を憂慮されまして、盛り上って居る婦人会其の他の養豚熱に対し明るい希望を持たせ、そして如何なる姿勢でこの養豚危機を乗り切るかについて館報の一部を与えて頂きました。

係として国及び県が考慮して居る豚価安定対策について、ペンを取った次第であります。農林省畜産局は、先に成立した畜産物価格安定法を早く軌道に乗せ、安定した価格で畜産の振興を図りたいと、養豚農家の協力を求めて居ります。其の中で特に肉豚の適期出荷計画的出荷を考慮して豚も商品として均斉化に努めよと、強く協力を求めて居る訳で御座います。又此れ以上の価格の低落を防ぐため各県ごとに出荷を調整して需給後の計画出荷について畜産振興事業団が、肉豚を無制限に買入れ、今後学校側の希望により学校給食用供給事業として豚肉の原価販売を計画して居ります。併せて豚肉需要増進運動として、農村の豚飼育者も、もっと豚肉を食べて頂きたいと、呼びかけて居ります。豚飼育者の皆様、豚肉の安定基準価格から見て、適正な水準迄豚肉の小売価格を、引き下げて貰い、過剰に生産されている、豚肉を消費拡大して現在不況の豚価の暴落を早く立て直したいものであります。そうする為には、国及び県の施策に呼応する事は、論をまちませんが、豚の生産者にして見れば、一体現在低落した、豚価は何時立ち直るのだろう。政府の価格政策だけで問題が解決されるのだろうかと、疑問も生れて来る方もあられると思います。全く現在の状況が長く続けば続く程、養豚農家は破産的な打撃を受ける事になります。経費だおれの養豚の壁を乗り切る為には国及び県の施策に大きな眼を向け対策を講じ乍ら、個々の養豚農家でも、真剣に此の問題と取りくまねばならないと思います。その一つは、需要が今後どんな形で伸びて行くか、需要に見合った計画生産が必要になって参ります。それと同時に豚の生産は誰がするのか、どんな地域で、どう云う形態で、此後の豚は生産されて行くのかと云うことにつきましても、自分の養豚の出発と、経験を此の機会に、ごゆっくり考慮し、検討する事も大切であります。不況と云う不安を第一目に、現在養豚施設に一億円を上回る資金を投じ、豚舎は冷暖房付き、豚舎の便所は、水洗式と云う、デラックス養豚施設が、建設されて居ると云えば、全く本当にしない方が多いと思います。それが栃木県の田沼町に出来て居るので御座居ます。決して時は現在迄の様に、農民だけが生産する時代でなく、飼育型態が、新しい時代と共に、変って行く事に注目する事も特に肝要なことと思います。儲がる為の養豚を目指して、経営に自信がついたら我が家の適正規模養豚に踏み切る事も、此の機会の反省の中から生れて来ると存じます。反省の中から生れる奮起は貴重なもので此の不況を契機に、我が家の養豚経営も、合理化致しましょう。需要と供給のバランスが、こわれた時、価格の変動が起ることは、自由経済の原則であります。津奈木村養豚家の皆様、現在の養豚不況に対し静かな姿勢で対應し、反省の中から生れ来る、自分の養豚信念で、早く明るく安定した、畜産は今や新しい農業の先頭を行く、畜産、養豚界に、したいものであります。

今月の納税

固定資産税（一期分）
軽自動車税（全期）
四月三十日

納税すまして

「明るい家庭」

館説

津奈木の反省

○蜜柑は枯れかかってはいないか。
○豚はやせてはいぬか。
○鶏は卵を止めてはいないか。
○田畑は荒れてはいないか。
○主婦であり、親であり、子であり、妻であり、母であり、夫であることを忘れ、家庭が荒れてはいないか。
○家計は完全であるか。

など、津奈木は今、反省してみないでよいものだろうか。

ここに問題がある

このごろのように、人手不足は大事にしよう。

このごろのように、津奈木におちる金の多いことはあるまいその金を金として残さないで、ただ思い出としてなつかしみに終らせたくないものである。

最近――平口婦人会が百万円の貯金目標を達成したことは、特筆大書すべきことであると思う。

――○――

紙面の都合で、今回は貯蓄のことのみに限られたが、機会があったら、別の方面のことを考えて見たい。

× ×

カヌー合宿訓練始まる

県体育保健課長来津

前途の、オリンピックと言う大きな目標に向って、津奈木村でも、去る三月四日、津奈木村カヌー協会の発会式を見るに到り、第一次合宿を三月六日より五日間、第二次合宿を三月二十三日より五日間津奈木小学校の杉谷先生をトレーニングコーチ、柳迫進、新立初喜の両氏を漕法コーチとして練習もいよいよ本調子となり三月三十一日は、県会議員田中氏県体育保健課長千葉氏等親しく合宿練習を視察され、又四月十日には杉谷先生を埼玉県戸田漕艇場に派遣する等カヌー熱はいやがうえにも高まっているそこで、その模様を部員にきいてみた。

目標に向って、努力、精進することは、自分自身にとって大切であるばかりでなく、それが他に及ぼす意義もみのがすことのできないものである。

一九六四年（昭和三十九年）に開かれる東京オリンピック大会のカヌー競技の部に長崎と共に大きな期待をかけられながらも、やゝ長崎に、その名を高らしめている感がないではなかった。

それに隣接水俣の発奮もあり、我々部員一同は、何くそという意気にもえながら三月六日より三月十一日までの五日間村当局の御援助により合宿を計画したのである第一日目部員十名コーチ三名を含め十三人の意欲にもえた練習が、今日から始まるのかと思うと、我々一人一人に決意がわきあがってきた。

午後五時半集合、軽いトレーニングを三十分ほどすませて、さっそくカヌー漕法（実技）に入った部員中、東京、湯之児での合宿に参加した、二、三人を除いては、未経験であったが、それでも二せきのカヌーは東京オリンピックのスタートを切ったのである。

夕食にとりかかった時には、もうすっかり暗くなって、時計も八時をさしていた。四千五百カロリーの夕食をばくつく顔々にも心なしか疲労の色が見えていた。

夜も自主的なトレーニングをやり、第一日目の合宿生活は、十一時近くまで、活気の中に楽しく過したのである。

第二日目「起床!!」の声に、全部員、本当に一台の歯車の如く快くく、そして一せいに飛び起きたのである。うす暗い海岸には、わずかに早起きの民家の灯が、朝もやの中に鈍いひかりを見せていた。

準備体操、そして約千五百米のランニング、椅子の登り下り、腕立伏せ、腹筋、腰、マット運動と一分間の休みも取らず正味四十五分のトレーニングは、まだ始まったばかりの練習には、強度の疲労を与へずにはおかなかった。

つかれすぎて朝食ものどを通らない部員もでる有様だった。

夜の練習もエクスパンダーによる筋肉運動、肺かつ量の養成と一時間以上もがんばりながら、自分の体の強さに感謝せずにはおれなかった。毎日の食器洗いも、当番制にし、順調にいっている。

三日、四日、五日とこのはげしくて、楽しい合宿生活は続けられるであろう。夜中、床の中での寝返りにも、疲労のうめき声がもれる。それでも前途に待ち構える大きな目標に向って、我々自身の意気の中に、村民各位の期待にそうべく、これから先も同じような生活を続けたいと思っている。

以上

お金は正しく使われているか

「貯金は海にしている」と思っていたが、海の中の貯金は、いつまでもいてくれなかった。戦後初めてのことだろう。新国道ができる。家が建つ、農道ができる。ミカンを植えるなど、仕事は余るほど多いので、働き手は引張りダコ。従って収入はグッと増していることは間違いない。

これはまことに結構なことである。これでこそ農業が安定し、他産業なみに農業も引合う職業になったといえるであろう。しかしここに問題がひそんでいる。

仕事はいつまでもつづき、お金はいつも入ると思っても、思う通りにまいらぬものであることは、海の中の貯金の例でもわかる。入れて、今まで念願してもらえなかったお金、また将来もそのように取れないお金と思って、大事に考えて使うべきではなかろうか。更につき込んでいうなれば、将来のために貯金しておくべきではなかろうか。

今日のように元気で働けるのは毎日はない。雨の日あり雪の日あり、又運者なときばかりはない病気もしよう。年とって弱りもしよう。今が大事である。今の金を大事にしよう。

千葉課長と記念撮影

朝靄ついて

津奈木校区婦人会役員決定

会長　斉藤　たま
副会長　岡松　かき
〃　六車木二子
〃　竹中　班長　長浜たえ子
〃　委員　藤本　文恵
〃　染竹　班長　下川さゝえ
〃　委員　上原ちづ子
〃　浜崎　班長　前坂　まき
〃　委員　淵上えみ子
〃　町中　班長　中島　しづ
〃　委員　松本ふみ子
〃　古川　委員　川崎つるえ
〃　大泊　班長　沖口しづ子
〃　委員　諫山とき子
〃　中尾　班長　農山ふじ子
〃　委員　林田みつ子
〃　古中　班長　長原みさえ
〃　委員　福本てる子
〃　倉谷　班長　沢井みすえ
〃　委員　堀　くに子
〃　内野　班長　山川みどり
〃　委員　井上しづ子
〃　上下　班長　福島　きみ
〃　委員　髙見くみ子
〃　川内　班長　下川みつの
〃　委員　宮崎てつ子
〃　小津　班長　斉藤つや子
〃　委員　松永とよ子

寺崎校区婦人会役員

会長　森山しずえ
副会長　高木ツネヲ
〃　松田　シキ
会計　課山　文子
〃　伊藤　信子

平国校区婦人会役員

会長　吉野　イス
副会長　平野　シエ
〃　福山ツルエ

みんな揃って　みかんを植えよう

農業生産の選択的拡大を図る施策の一環として、今后蜜産とゝもにその成長発展が期待されている果樹農業の振興をはかるため、第三八国会に於て、果樹農業振興特別措置法が制定されました。

これは近年急激に成長しつゝある果樹農業を、今后更に安定した発展の軌道に乗せ、国民経済の成長発展に即応した農業生産の選択拡大と、農業近代化に資するため流通、加工等の改善合理化と、並んで果実生産の安定的拡大を目標としつつ栽培適地において、合理的な果樹園経営を確立せしめようとするもので、次の事項にわたって規定しています。

まず第一に、今後果実生産の安定的拡大を図るため、農林大臣は果樹について、主要な種類ごとに植栽及びその果実の生産についての長期見通しをたて、これを公表し、国及び県はこの見通しに即応し、かつ必要に応じ地域の特性を考慮して、必要な施策を講ずるよう努めることゝしています。第二に合理的な果樹園経営の確立を図るため、指導、融資等の措置を講ずることゝしています。これには基礎条件である。樹園地の集団化と効率的な機械や施設の導入等を計画的に推進する事が緊要でありそのため果樹農業者の集団または果樹農業者が構成員となっている法人が、果樹園経営計画をたて、県知事の認定を受けねばなりません。認定を受けた場合には、農林漁業金融公庫から、植栽資金の貸付と、国や県の助言指導を受げることができます。

この果樹園経営には、農業経営の現状や樹園地の面積等を始め、今後五ケ年間に植付る果樹の計画面積及び品種、病害虫の防除施設その他果樹の管理のために必要な施設についての現状と、計画、この計画を達成するために必要な、資金の額および調達方法、公庫融資を必要とする場合にはその額と使用、償還計画、果実の生産および販売に関する計画などを記載することゝなっております。第三に国および県は、果樹農業の健全な発展と、果実の流通および加工の合理化に資するため、生産、流通、価格等に関する情報の提供、優良苗木の供給の円滑化のための援助を行なうよう規定してあります

すでに津奈木村は水俣市と共に果樹大集団産地としての、指定を受けており、一日も早く果樹経営計画書を作成して、知事の認定を受けたいと思います。そうする事によって今まで経済的な理由で、植付ができなかった人でも、長期の融資を受けて、植付けや管理ができる様になります。村内みんなが揃って、みかんを植え、みかんによって新しい村づくりを致しましょう。

拓けゆく蜜柑園

ものしり帳

津奈木太郎峠

現在の国道三号線は、明治三十六年に完成したもので、隧道の長さは二一一、六米である。

新国道の完成も間近いと聞いているが新しい隧道について配すると延長　五一五米（直線）

勾配　一、四%
巾員　車道巾員　六、五米
総巾員　八、二米
高さ　五、七米
路面　コンクリート補装
照明　標準照度　二〇ルツクス
螢光灯　四〇W　一灯用
六米間隔

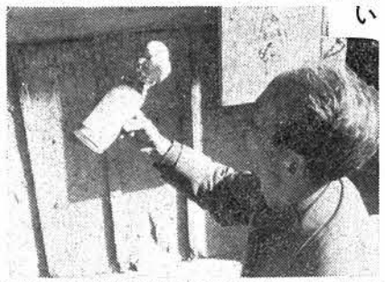
となっております。

津奈木村　連合青年団　新役員決定

団長　小島　利治
事務局長　西川　清補
広報部長　竹本　茂人
合唱部長　真野　修明
柑橘部長　久村　末記
野球部長　岡松　守
卓球部長　福崎　靖夫
バドミントン門崎　敬一
水上部長　柳迫　義治
長距離部長　宮島　堅男

これはめずらしい

現今、普及めざましい所の平茸栽培に対し、森林組合では菌の殖施を行っているが一部保管中の菌に写真の様な珍現象をおこした。「温度、湿度、日光等の適当条件がそろって此の様な現象がおきたのだろう。平茸菌の繁殖条件がそろえば、人工栽培が如何にたやすく出来ると云う事が証明された一現象だ」と森林組合では語っていた。



農業暦

柑橘

構造改善は成長部門の果樹で

一、摘花

1未結果樹の花は五月中に摘花を完了すること。

2幼結果樹は主枝、亜主枝の先端に着花したものは、速かに摘花を行い、新梢の伸長促進を計ること。

3成木樹で予備枝に着花したものは早目に摘花し、春梢の発芽促進し隔年結果の防止に努めること。

二、肥料

1本年度植付けた一年は殊に生根張が不完全で肥料高濃度に対する抵抗性も弱く、根部障害を起し成育不良に陥いる処もある。一度に多量の肥料を与えることは禁控ること出来れば液肥として冬期を除き毎月一～二回施用したい。施用量は水一〇立に硫安三〇～四〇g一本当り。

2未結果樹も一年生に準じ冬期を除き毎月一回位機会に応じて七〇～一五〇g位を樹の生育状態に照らし施用したい。

3幼結果樹は年間施肥量の窒素二〇%燐酸、加里三〇%五月上旬に施用すること。

三、病害虫防除

1そうか病は主として早生温州普通温州に被害を及ぼし、其の被害が大きいときは収量を減じ、品質の低下を来たし、幼木の伸長を妨害する。殊に背北地方は気候温暖、多雨のために其の被害は県内に於ても最も甚だしいものと云われている。

従って之が防除には計画的に而かも弾力性のある方法を用いねばならない。亦、病菌の性態を良く知り対策を樹てることが大切である。

そうか病は摂氏一五度から二三度の間に湿度の高い五～六月の頃に葉、幼果に被害を与える。

防除法

第一回目、五月十日頃五～三式石灰ボルドウ液。

第二～四回目は五～五式石灰ボルドウ液。

2アゲハ蝶幼虫は一～三年生に加害が甚だしいから砒酸鉛水一〇立当り三〇～三五gで駆除すること。

3イセリ貝殻虫は五月上中旬頃に第一回発生を行うから幼虫時にEPN一、〇〇〇倍撒布すること。

4ヤノネは五月下旬に約五〇%の発生をするからEPN一、〇〇〇倍、月末から六月上旬にかけて第一回、中下旬に二～三回の撒布を行い徹底的に防除に努めること。